

口永良部島の火山活動－2002年11月～2003年4月－*

Volcanic Activity of Kuchinoerabujima Volcano－November 2002－April 2003－

福岡管区気象台火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

Volcanic Observations and Information Center, Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA
Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

1. 活動概要

火山性地震が2月からやや増加し、振幅の小さな火山性微動を観測するなど、火山活動は2月以降やや活発な状態で経過した。

(1) 地震・微動活動の状況

地震回数は2002年11月51回、12月47回、2003年1月73回、2月160回、3月80回、4月97回と2003年2月以降やや多い状態で経過した。火山性地震の月回数が100回を越えたのは2000年1月以来であった。第1図に月別地震回数(1992年1月～2003年4月)を示す。

地震活動は、2003年3月13日06時から11時にかけて24回、4月19日20時から24時にかけて33回と一時的に活発化することがあった。第2図に地震多発時の震動波形を、第3図に地震多発時の特別地震・微動回数(2003年4月18日～21日)を示す。

期間中、A型地震は1日あたり概ね10回以下で推移した。第4図にA型地震日別回数(2002年11月1日～2003年4月30日)を示す。また、B型地震も1日あたり概ね10回以下で推移した。第5図にB型地震日別回数(2002年11月1日～2003年4月30日)を示す。振幅の小さな火山性微動は2003年1月までは0回で、2月3回、3月5回、4月16回観測した。第6図に火山性微動日別回数(2002年11月1日～2003年4月30日)を示す。第7図に気象庁観測点の位置を示す。

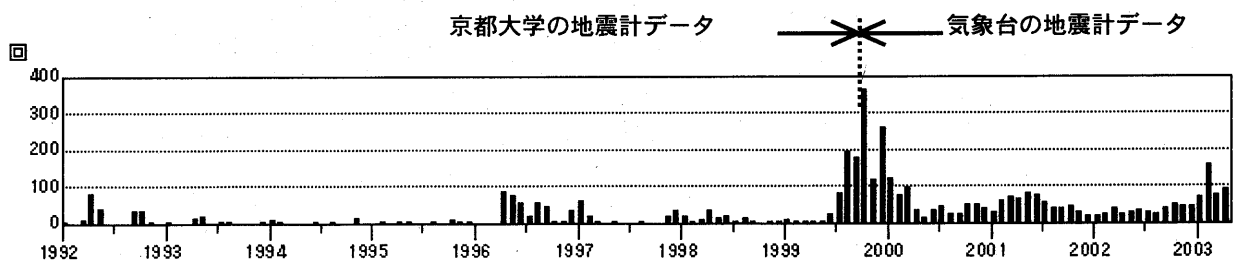
(2) 火口や噴気地帯の状況

2003年3月19日に行った鹿児島県防災ヘリの協力による上空からの火口や噴気地帯の観測では、新岳火口底付近で、白色で高さ2～3mの噴気を確認した。

2. 火山情報の発表経過

本期間(2002年11月～2003年4月)、福岡管区気象台と鹿児島地方気象台が連名で発表した火山情報は以下のとおりである。

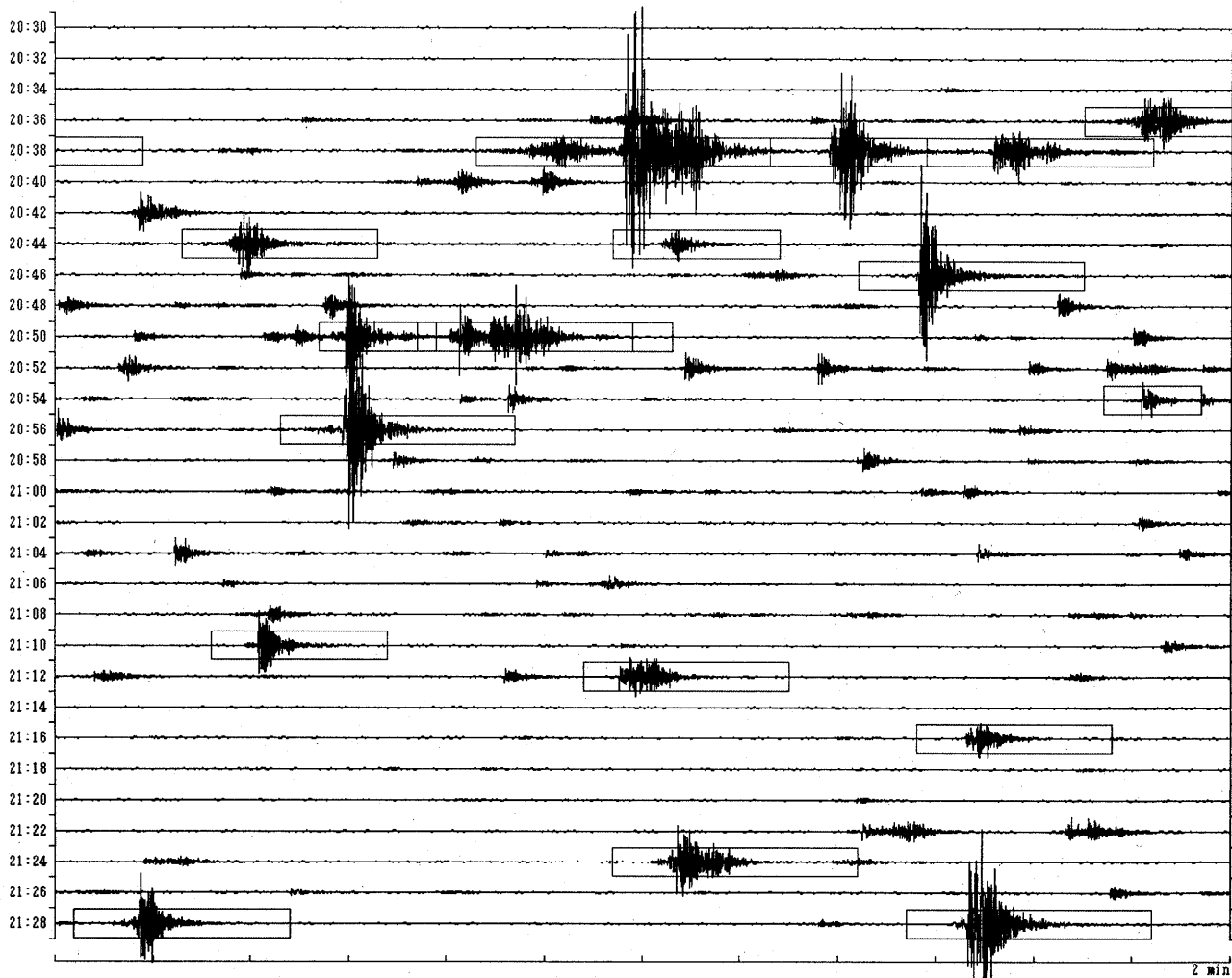
火山観測情報 2003年 第1号 2月28日 ～ 第3号 4月20日 火山性地震の増加



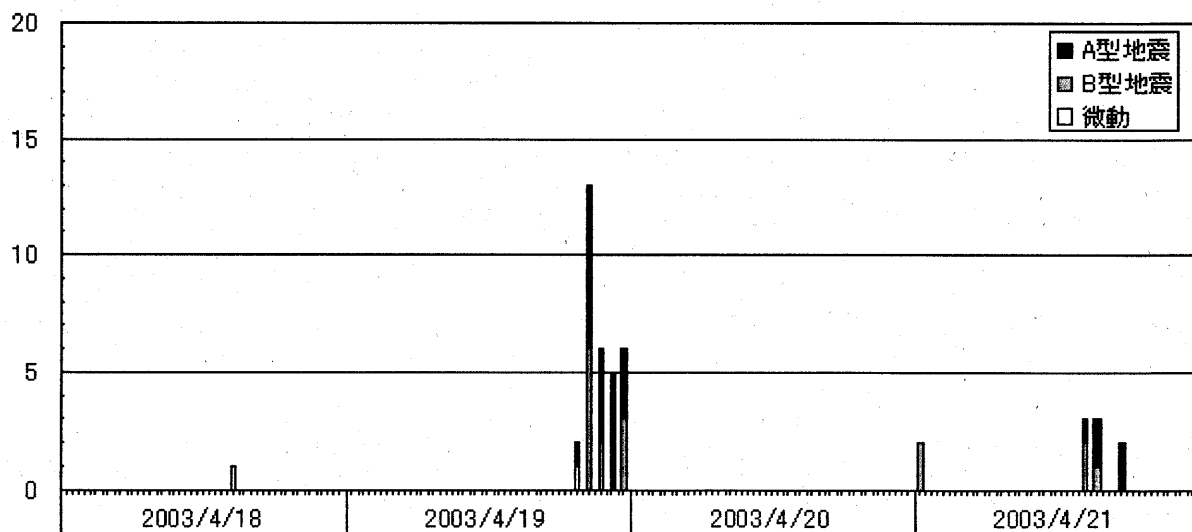
第1図 口永良部島の月別地震回数(1992年1月～2003年4月)

Fig.1 Monthly frequency of volcanic earthquakes at Kuchinoerabujima volcano (Jan. 1992 - Apr. 2003).

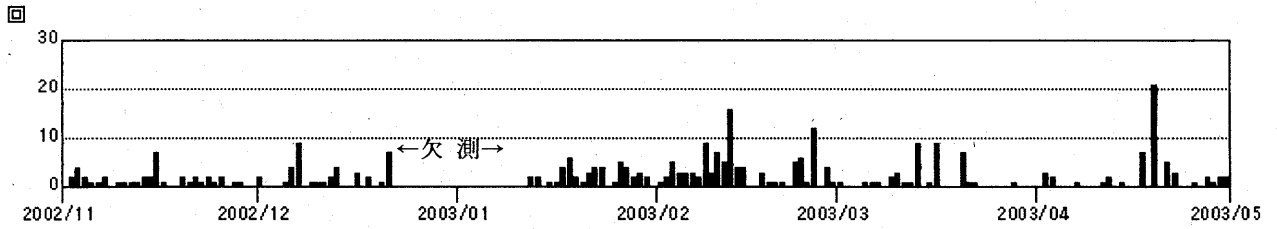
* Received 8 August, 2003



第2図 地震多発時の震動波形 (2003年4月19日20時30分~21時30分)
 Fig.2 Waveform of earthquakes at seismic station by JMA(20:30 - 21:30 Apr. 19 2003).

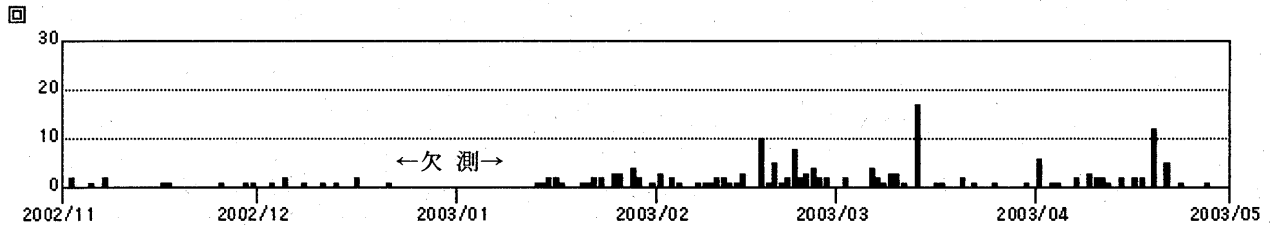


第3図 地震多発時の特別地震・微動回数 (2003年4月18日~21日)
 Fig.3 Hourly frequency of earthquakes and tremor(Apr. 18 2003 - Apr. 21 2003).



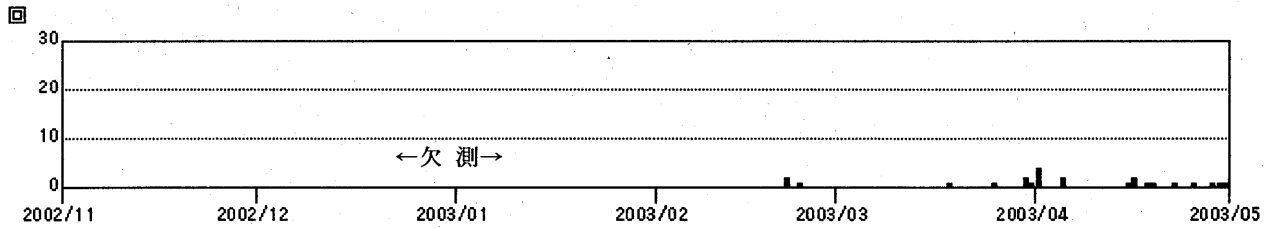
第4図 A型地震日別回数 (2002年11月1日~2003年4月30日)

Fig. 4 Daily frequency of A-type earthquakes at Kuchinoerabujima volcano (Nov. 1 2002 - Apr. 30 2003).



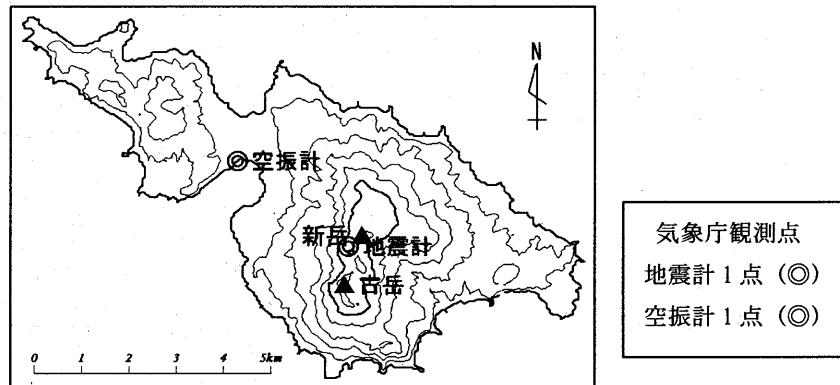
第5図 B型地震日別回数 (2002年11月1日~2003年4月30日)

Fig. 5 Daily frequency of B-type earthquakes at Kuchinoerabujima volcano (Nov. 1 2002 - Apr. 30 2003).



第6図 火山性微動日別回数 (2002年11月1日~2003年4月30日)

Fig. 6 Daily frequency of volcanic tremor at Kuchinoerabujima volcano (Nov. 1 2002 - Apr. 30 2003).



第7図 口永良部島の気象庁観測点の位置

Fig. 7 Distribution of seismic and infrasonic station by JMA at Kuchinoerabujima volcano.